



店舗集客支援サービスを提供するスタートアップ 株式会社カンリーを金融面からサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）のスタートアップ営業部は、株式会社カンリー（本社：東京都品川区、代表者：辰巳 衛、秋山 祐太郎）に対し、事業拡大に必要な資金として、3億円を融資しました。

同社は、複数店舗の情報を一括管理できるクラウドサービス等、店舗の集客支援サービスを提供するスタートアップ企業です。同社が提供する「カンリー店舗集客」は、店舗情報や口コミ、集客データを一括管理・分析することができ、多店舗展開する企業を中心に導入が進んでいます。

今回同社は、調達した資金を活用し、サービス機能の高度化と営業体制の強化を進めることで、更なる事業成長を目指します。

商工中金は、経営者や関係機関へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや課題を共有。同社の取組みが、店舗管理業務の効率化につながるものと考え、本融資契約を締結しました。なお、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に則り、無保証対応としています。

商工中金は、革新的な製品・サービスにより社会課題を解決しようとするスタートアップ企業の皆さまのサポートを通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【株式会社カンリーの概要】

所在地	東京都品川区東品川2丁目2番20号 天王洲オーシャンスクエア6階
代表者	辰巳 衛、秋山 祐太郎
資本金	1億円
従業員数	157名（2025年7月時点）
設立	2018年8月
業種	店舗アカウントの一括管理・分析SaaS の開発・提供



【サービスイメージ】